

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	人事課	氏名	植田 和枝
派遣先 団体名	NPO法人さくらおろち		

① 研修の日時

平成28年 8月 4日(木) さくらおろち湖祭り実行委員会
平成28年 9月20日(火) 〃
平成28年10月 4日(火) 〃
平成28年10月15日(土) さくらおろち湖祭り前日準備
平成28年10月16日(日) さくらおろち湖祭り

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

■実行委員会

実行委員会の構成メンバーである地元のNPO法人、雲南市、奥出雲町、出店者等により祭り開催にむけて下記事項等について検討した。

- ・さくらおろち湖祭りのステージ内容、催し内容、出店者についての検討(去年は子ども向けの催しが少なかったため、今年はペットボトルロケットづくりやミニ四駆レースなど子ども向けの催しを増やすとともに、三刀屋高校の吹奏楽演奏、広島県の演歌歌手を召致するなど様々な年齢層が楽しめる構成とした)
- ・広報の方法、運営の方法等の検討

■前日準備

- ・会場のテント設営、椅子配置、案内看板設置

観覧用のテント、出店者用のテントを実行委員会メンバー、出店者も協力して設営。

- ・ランバイク会場の草取り

当日催しをするNPOさんと一緒に草取りを行った。当日参加する子どもたちが少しでも走りやすいように会場整備を行った。

■さくらおろち湖祭り当日

今年で12年目となるさくらおろち湖祭りは、地元である雲南市、奥出雲町の飲食店等が24店舗出店し会場を埋めたほか、三刀屋高校吹奏楽部の演奏、仁多乃炎太鼓、奥出雲神代神楽など地元の資源を活かした祭りとなった。また、はしご消防車やパトカーの展示、花馬車、雲南地域の子どもの間でも大人気のランバイク等子ども向けの催しもあり、たくさんの家族連れ姿があった。天候が心配されたが、約2,000人の来場がありにぎわった。

主な仕事は受付での会場案内配布と人数のカウント。途中出店者からゴミのことで相談があったり、迷子がいったり、イベントの別会場への案内等を行った。

イベント終了と同時に雨が降り出し、雨が降る中での片付けとなったが、出店者等が協力し迅速に片付けを終了した。



〈はしご消防車展示〉



〈南一誠onステージ〉



〈24のお店が出店〉



〈さくらおろち牧場の花馬車〉

③ 研修の感想

（研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。）

研修の初日に、NPOさくらおろちさんの活動内容を聞かせていただきました。今回参加した「さくらおろち湖祭り」をはじめ、トライアスロン、ロゲイニング（地図とコンパスを使用したナビゲーションスポーツ）大会まで、年間とてもたくさんの事業をしておられることをお聞きしました。そのイベントのどれもが、地域性を活かした、この地域ならではのイベントであり、地域活性化のためにもなくてはならないものだと感じました。

今回、私が参加した「さくらおろち湖祭り」は、地元のNPOさんや地域自治組織の方、市役所の方々等地域が一体となり、12年に渡り継続開催されていますが、少ない事務局の人数でこうした大規模なイベントの準備、企画運営等はとても大変なものだと思います。大規模なイベントになればなるほど事務局の運営に様々な課題等があるかと思いますが、さくらおろち湖周辺の自然や伝統芸能、地元の美味しい食べ物を満喫できる、こうした地域資源を活かしたイベントは、地域の子どもたちにとっても、地域を守っていく大人にとっても、非常に大切なものであり今後も定着していくといいなと感じました。

こうした地域のイベントに参加するにあたっては、せっかくの機会ですのでいろんな人と積極的に話をする、仕事をみつける、自分から動くということが必要だと感じました。

④ その他特記事項

（※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。）